

# 環境会計

環境保全活動に対する投資、費用とその効果を把握して、環境保全活動の効率化に努めています。今年度は、CO<sub>2</sub>削減効果が見えるものについてはその数値も算出いたしました。

コスト集計及び効果の把握方法は環境省「環境会計ガイドライン2005版」を参考に作成しました。

## 環境保全コスト

分類	主な取り組みの内容	2020年度		2021年度		CO <sub>2</sub> 削減効果 (t-CO <sub>2</sub> )
		投資額 (千円)	費用額 (千円)	投資額 (千円)	費用額 (千円)	
(1)事業エリア内コスト	—	179,017	513,446	183,137	473,242	—
内訳	(1)-1公害防止コスト	105,502	132,878	133,805	111,425	—
	ばい煙・地下タンク・浄化槽検査費 グリーストラップ等設備導入費 グリーストラップ清掃費、浄化槽維持費など					
	(1)-2地球環境保全コスト					
(1)-3資源循環コスト	—	286,279	—	282,912	—	
(2)上・下流コスト	容器包装リサイクル法再商品化委託料など	—	53,402	—	36,383	—
(3)管理活動コスト	ISO審査費用、環境教育、EMS各種勉強会、展示会、新店の緑地など	13,067	27,421	6,500	29,538	—
(4)研究開発コスト	—	—	—	—	—	—
(5)社会活動コスト	各種組合費など	—	50	—	50	—
(6)環境損傷対応コスト	アスベスト除去費用	—	34,850	—	14,500	—
合計	—	192,084	629,169	189,637	553,713	92

※対象企業：原信、ナルス

※減価償却費については2000年以降に実施した原信の設備投資について集計しており、ナルスでは集計していません。

## 環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2020年度	2021年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	電力使用量(MWh)	190,480	183,497
	ガス使用量(千m <sup>3</sup> )	447	357
	重油使用量(kℓ)	34	44
	灯油使用量(kℓ)	237	261
	軽油使用量(kℓ)	3,294	3,339
	水使用量(千m <sup>3</sup> )	780	771
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	108,847	94,879
	廃棄物総排出量(t)	23,594	24,442
	廃棄物最終処分量(t)	6,039	5,756
	排水量(千m <sup>3</sup> )	780	771
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	レジ袋回収量(t)	8	5
	紙パック回収量(t)	345	342
	発泡トレイ回収量(t)	244	246
	透明容器回収量(t)	499	557
	ペットボトルキャップ回収量(t)	82	88
	ペットボトル回収量(t)	284	295

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

## 環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

効果の内容		2020年度	2021年度
収益	リサイクル品売却益	14,714	38,554
	店頭回収品売却益	5,718	8,501
費用節減	店頭回収による容リ法再商品化委託料の節減	19,559	21,981
	ショッピングバッグ持参によるレジ袋費の節減	217,183	250,101
合計	—	257,174	319,137

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ